

工夫ある経営で頑張っている中小企業（3件）

1頁

○こだわりの愛犬用おやつメーカー、“おかず”缶詰を新開発

（Plain Treats（プレーントリート）・都島区）

○忍者屋敷でバリューアップ！ユニークなリノベーションを企画する不動産賃貸会社

（㈱蒼悠・港区）

○ユーザー目線の仮設資材供給で関西一円のインフラ整備に貢献！（大高工材㈱・住之江区）

工夫ある経営で頑張っている中小企業

《大高工材(株)分 抜粋》

ユーザー目線の仮設資材供給で関西一円のインフラ整備に貢献！

大高工材株式会社（所在地：大阪市住之江区南港南1-1-181 代表取締役：村上 裕宣 氏 TEL：06-6612-2845 URL：<http://www.ohtaka-k.co.jp>）は、1978年設立の仮設資材総合リース・レンタルシステムの会社である。現代表は2代目で、創業者の父から引き継いだ事業基盤をもとに2009年には住之江区に1,000坪の土地を購入し、資材置き場となる南港機材センターを構えた。

主力商材は建設・土木現場で仮設の足場となる鋼製板・手摺り・取付金具・筋かい・クランプ・巾木・ジョイントなどの仮設資材で、建設業者などにリース・レンタルしている。ほかにも保安部品・保安標識・工事用表示板等も取扱っており、必要資材の調達を一貫してバックアップする。

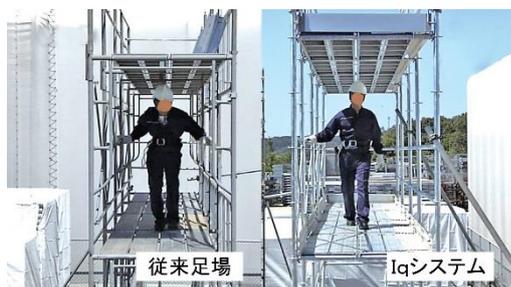
同社はIqシステムという新規格の仮設資材を業界内でいち早く取り扱った。その結果、多くの引き合いを受けている。通常、枠組足場の階高は1,700mm程で現場では屈んでの作業が多くなるが、Iqシステムは階高1,900mmであるため、ほとんど屈むことがなく、作業性が向上し、腰への負担も軽くなった。同時に手摺りも1,000mm以上の高さに上がったため、作業時の安全性・安心感が増した。そ



のうえ、軽量パイプの使用、コンパクトに梱包できる設計であるため、資材の保管面積軽減や積載運搬の効率化を図ることもできた。村上社長の先見性の高さが光る先行投資だ。

また、大半の同業他社が山奥の広大な土地に資材置き場を設けるなか、同社はあえて大阪市内の立地にこだわり、必要資材の素早い調達に応える戦略を取っている。これによりユーザーの緊急工事や細かいパーツ不足に迅速に対応できる。ユーザー目線の利便性を追求した戦略で顧客の心をぐっと掴む・・・これが同社の生命線だ。

同社はBCP（事業継続計画）にも注力している。BCPは災害・テロなどの緊急事態に自社損害を最



小限にとどめ事業を早期復旧させるための方法・手段を計画しておくものだ。災害直後から建設・工事は始まるため、仮設資材の必要性は高く、同社の早急な復旧は

地域社会への貢献にもつながる。同社の南港機材センターは海拔5mと低い場所にあるため、南海トラフ地震の際は大津波の影響を受ける可能性が高い。そのため、来春には市内から車で約1時間の泉南郡岬町に新たに土地を購入し、バックアップヤードとして構える予定だ。

これらの戦略は、村上社長がユーザー目線を大切に、地域社会貢献という経営理念を追求していった結果である。そして今後もこの理念を追い求めていくことで、同社の存在は建設業界、そして地域においてもキラリと光るはずだ。今後の同社のさらなる飛躍に期待したい。

(南支部)

